



平成20年2月8日

各 位

会 社 名 タカセ株式会社

代表者の役職名 代表取締役社長 眞田 洋

(JASDAQ コード番号：9087)

問 合 せ 先 取締役執行役員兼

管理本部副本部長兼財務部長

島津 和人

(TEL. 03-3571-9497)

## 「主要取引先との取引停止に関するお知らせ」の一部変更のお知らせ

当社が、平成19年7月27日付で発表した「主要取引先との取引停止に関するお知らせ」の内容に関し、一部変更が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成19年7月27日付発表「主要取引先との取引停止に関するお知らせ」の内容趣旨

当社が、主要取引先である株式会社ミスミ（以下ミスミ社といいます）との間で締結している総合物流業務受託に関する現契約について、ミスミ社より平成20年3月31日以降更新しない旨の意向表明があり、このほど平成19年8月中旬以降段階的に、当社が受託している同業務が解消に向かうことが見込まれるに至りましたので、お知らせいたします。

(1) 取引先名 株式会社ミスミ

(2) 契約解消の具体的内容

当社川崎営業所（川崎市東扇島所在）において受託業務が実施されている、ミスミ社の東日本流通センターに係る金型部品・機械部材・工具等の商品に関する総合物流業務（商品の運送、保管、出荷作業等）

(3) ミスミ社に対する連結営業収益金額および連結営業収益に対する比率

1,791百万円（当社の連結営業収益に対して13.3%）

・・・平成19年3月期の年度実績

(4) 本件ミスミ社物流受託業務が解消となった場合の、当社の当期営業収益等に与える影響は、段階的移転の具体的なスケジュール、品目と物量、関係料金等が決定されていませんので、現時点で不明であります。

## 2. 上記発表内容の今回変更趣旨および見通し等

ミスミ社において物流自営化方針は変更なく、平成19年8月中旬より当社川崎営業所よりミスミ社自営倉庫への商品移転が開始されましたが、一旦移転作業を中断して諸条件の慎重な検討がなされるなかで、移転日程としては当初想定より遅くなり、平成20年3月を目途に当面のミスミ社所定の体制に切り替えられる予定となりました。合わせて当社受託業務が全量解消されることではなく、保管・作業の一定部分について当社受託が継続（対ミスミ社営業収益で見た場合、従前の約25%～30%程度に縮小と予想）されることとなりました。

なお、現在ミスミ社本体のほかミスミ社の一部関連会社に係る総合物流業務も当社が受託しておりますが、この関連会社取引については、現行どおり当社受託が継続されます。

## 3. 当社の営業収益に与える影響および今後の見通し

- (1) ミスミ社に対する中間連結営業収益金額および中間連結営業収益に対する比率  
956百万円（当社の中間連結営業収益に対して14.2%）  
・・・平成20年3月期中間期（6ヶ月間）の実績
- (2) ミスミ社取引による平成20年3月期業績への影響につきましては、受託縮小が期末近くとなる見込みのため限定的であります。なお、平成20年3月期第3四半期業績概況につきましては、本日平成20年2月8日付で別途お知らせしたとおりであります。
- (3) 次年度平成21年3月期以降、営業収益のうえでミスミ社分が相当程度の減収となります。これに対し当社といたしましては、羽田空港至近の立地を生かし、また近隣に賃借し現在フル稼働となっている新倉庫との連携を深めて、新顧客導入に注力して減収の影響をできるだけカバーすべく努めるとともに、組織簡素化や倉庫スペース効率化などのコスト削減にも注力する所存であります。

以 上